

平成28年度 北海道家庭用エネルギー消費実態調査 (2016エコファミリー省エネアンケート) 報告書 (概要版)

(1) 配布回収状況と調査世帯の構成

本調査の配布回収状況は、配布 500 に対し、有効回答数 492、有効回答率 98.4%となっている。

家屋形態別では、戸建世帯が 86%、集合世帯が 14%だった。一世帯当りの平均延床面積は、全世帯で 119.9 m²、戸建世帯 127.1 m²、集合世帯 73.2 m²だった。

表 1.1 道内ブロック別アンケート配布数および回収数、家屋形態別有効回答数

地域名	配布数	回収数	回収率 [%]	有効回答数 (() 内は%)		
				戸建世帯	集合世帯	全世帯
道央	276	274	99.3	222 (80.4)	52 (18.8)	274 (99.2)
道南	15	13	86.7	10 (66.7)	3 (20.0)	13 (86.7)
道北	63	63	100.0	57 (90.5)	6 (9.5)	63 (100.0)
道東	146	142	97.3	136 (93.2)	6 (4.1)	142 (97.3)
全道	500	492	98.4	425 (85.0)	67 (13.4)	492 (98.4)
平均延床面積 [m ²]				127.1	73.2	119.9

(2) 用途別エネルギー使用状況 (複数回答)

全世帯で見ると、最も多く使用されているのは、暖房、風呂、給湯用が灯油、調理煮炊き用はLPガス、炊飯用は電気となっている。また 47%の世帯で暖房用に電気を使用している。戸建世帯もほぼ同じ傾向だが、集合世帯では風呂、給湯用にLPガスと都市ガスが多く使用されている。

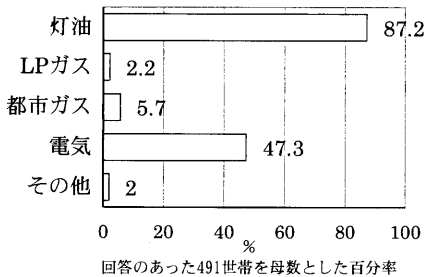


図 1.1 暖房用エネルギー使用状況 (全世帯)

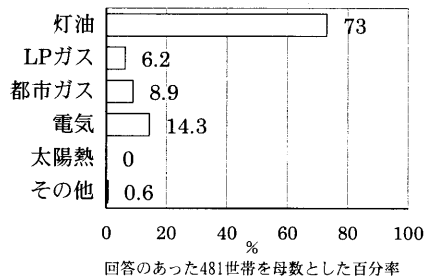


図 1.2 風呂用エネルギー使用状況 (全世帯)

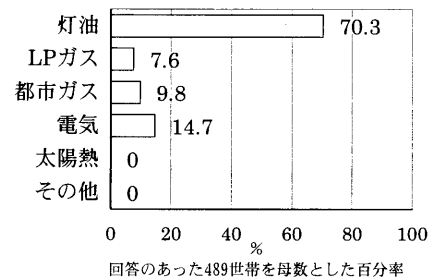


図 1.3 給湯用エネルギー使用状況 (全世帯)

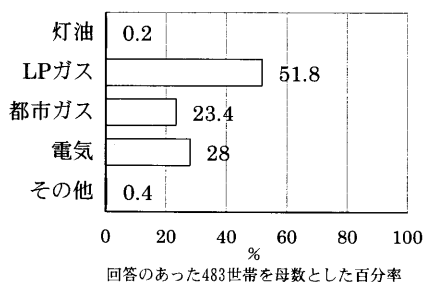


図 1.4 調理煮炊き用エネルギー使用状況 (全世帯)

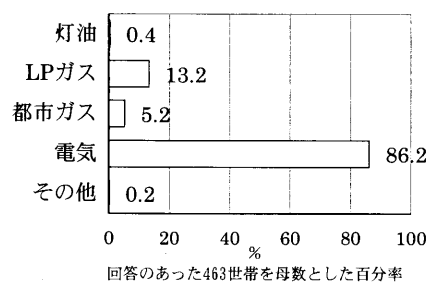


図 1.5 炊飯用エネルギー使用状況 (全世帯)

(3) 家庭用エネルギー消費について

① 灯油消費量

年間一世帯当たり、全世帯で1,390 ㍓、戸建世帯で1,466 ㍓、集合世帯で636 ㍓が消費されており、全世帯は、昨年度より増加した。また、戸建世帯および集合世帯ともに、概ね、延床面積が増えるにつれ灯油消費量が増加する傾向がみられた。

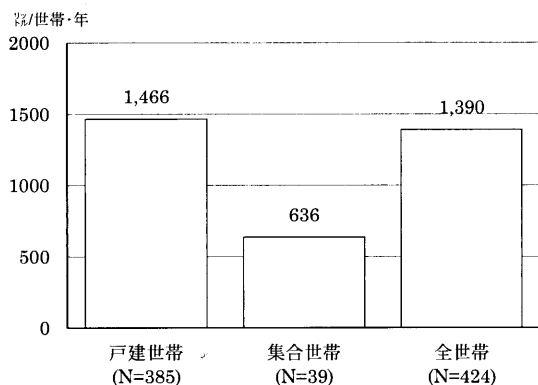


図 1. 6 灯油家屋形態別年間消費量

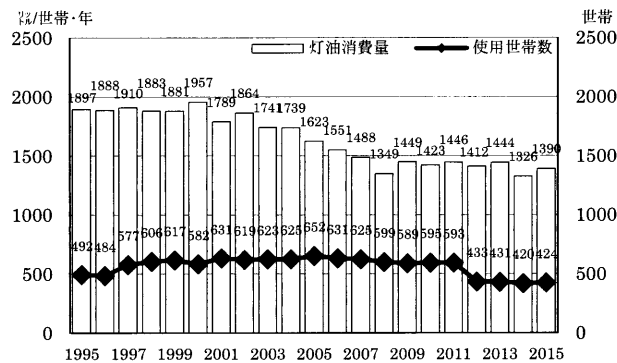


図 1. 7 灯油年間消費量の推移 (全世帯)

② L P ガス消費量

年間一世帯当たり、全世帯で39.3 m³、戸建世帯で34.8 m³、集合世帯で79.8 m³が消費されている。全世帯は、昨年度より減少した。

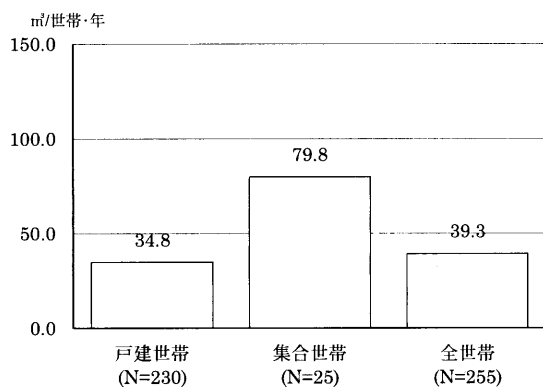


図 1. 8 L P ガス家屋形態別年間消費量

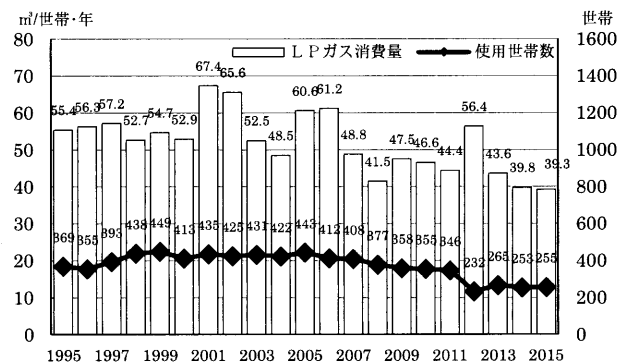


図 1. 9 L P ガス年間消費量の推移 (全世帯)

③ 都市ガス消費量

年間一世帯当たり、全世帯で273.7 m³、戸建世帯で205.2 m³、集合世帯で438.9 m³が消費されている。全世帯は、昨年度より減少した。

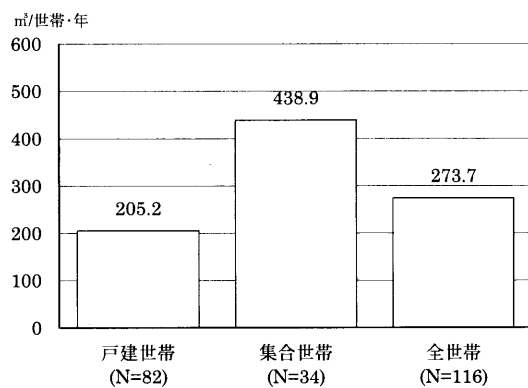


図 1. 1 0 都市ガス家屋形態別年間消費量

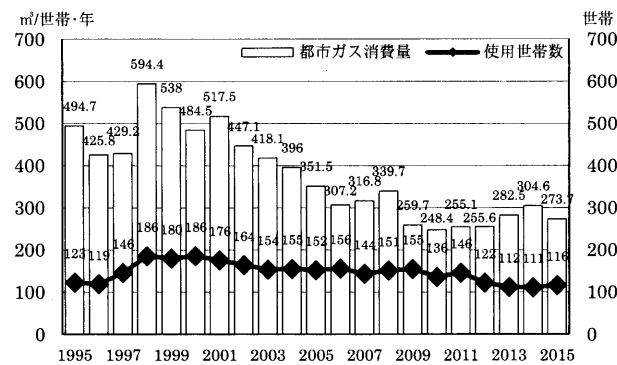


図 1. 1 1 都市ガス年間消費量の推移 (全世帯)

④電気消費量（時間帯別及び深夜電力除く）

年間一世帯当り、全世帯で3,312kWh、戸建世帯で3,436kWh、集合世帯で2,572kWhが消費されている。1996年以降増加傾向で推移していたが、2012年度以降減少傾向で推移している。

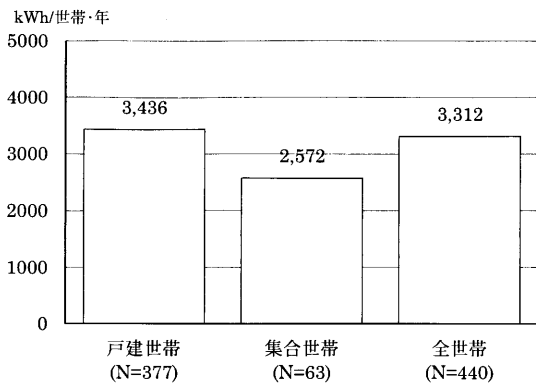


図 1. 1 2 電気（時間帯別及び深夜電力除く）家屋形態別年間消費量

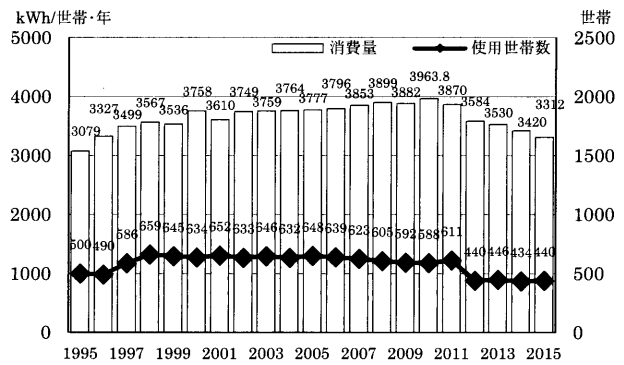


図 1. 1 3 電気（時間帯別及び深夜電力除く）年間消費量の推移（全世帯）

⑤時間帯別及び深夜電力消費量

本調査対象世帯で、時間帯別電灯電力や深夜電力を利用している世帯は66世帯で、有効回答数の13.4%を占めている。年間一世帯当り消費量は、戸建世帯で10,504kWh、集合世帯で7,168kWhであった。全世帯の消費量は、昨年度より若干増加した。

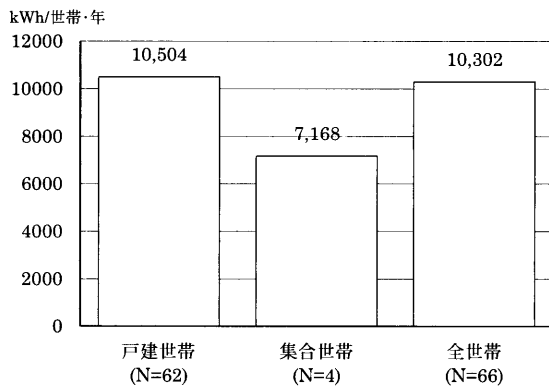


図 1. 1 4 時間帯別及び深夜電力家屋形態別年間消費量

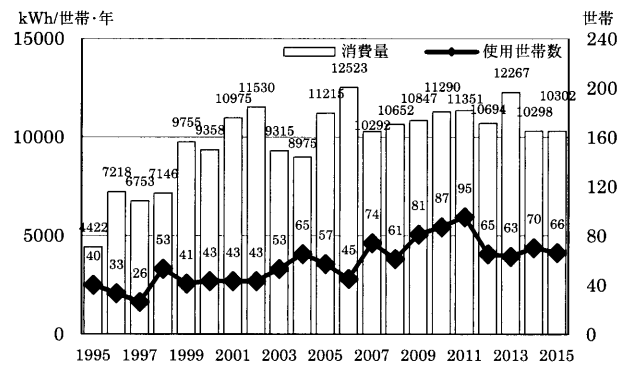


図 1. 1 5 時間帯別及び深夜電力年間消費量の推移（全世帯）

⑥エネルギー消費量

一世帯当りの熱量換算値は、戸建世帯で69,709MJ、集合世帯で38,236MJだった。構成割合は、灯油が戸建世帯で71%を占め、集合世帯では37.2%となっており、戸建に比べ少なく、その分LPガスおよび都市ガスが多くなっている。

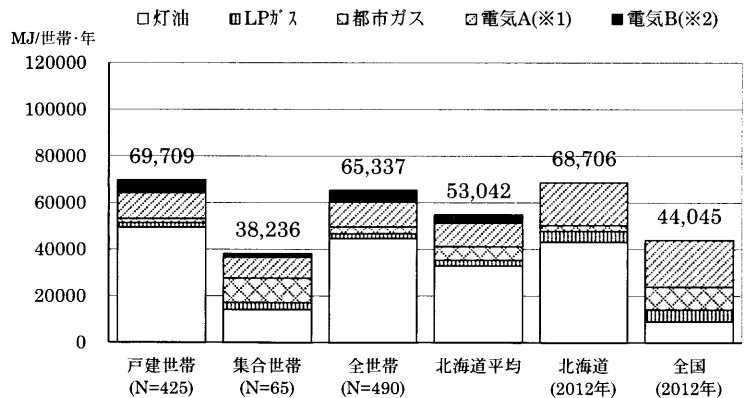


図 1. 1 6 家屋形態別年間エネルギー消費量熱量換算値

北海道、全国 (2012年) の出所：(株)環境計画研究所

「家庭用エネルギー統計年報 2014年版」の値

(※1)：電気（時間帯別及び深夜電力除く）

(※2)：時間帯別及び深夜電力

⑦家庭用エネルギー支出金額

一世帯当たりエネルギー支出金額は、全世帯で235.3千円、戸建世帯で245千円、集合世帯で176.9千円だった。支出金額構成は、戸建は灯油が35.4%と最も多く、集合は電気（時間帯別及び深夜電力含む）が46.7%と最も多くなっている。

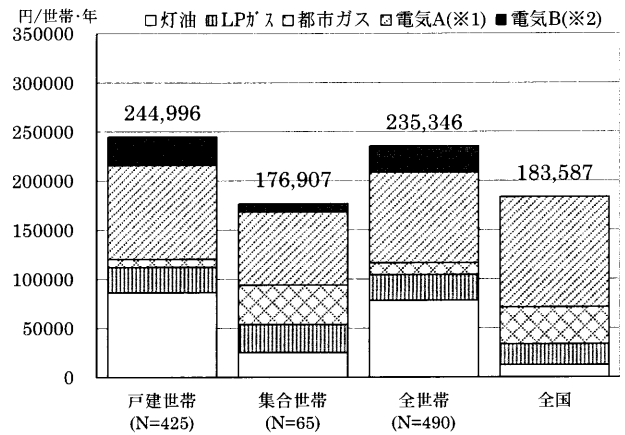


図 1.17 エネルギー支出金額 (円/世帯・年)

全国の出所：「家計調査年報 平成27年総世帯」(総務庁)

(※1)：電気（時間帯別及び深夜電力除く）

(※2)：時間帯別及び深夜電力

⑧家庭用エネルギー消費による二酸化炭素排出量

家庭用エネルギー消費から排出される一世帯当たりの二酸化炭素は、全世帯で6,175kgCO₂、戸建世帯で6,583kgCO₂、集合世帯で3,625kgCO₂であった。

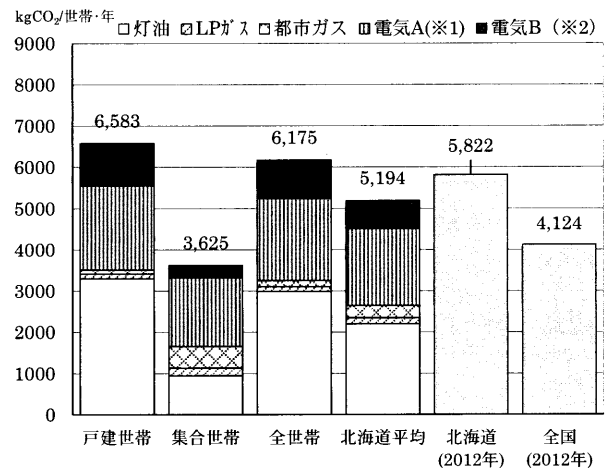


図 1.18 家屋形態別二酸化炭素排出量

北海道、全国(2012年)の値は独立環境計画研究所

「家庭用エネルギー統計年報(2014年版)」のデータ

(※1)：電気（時間帯別及び深夜電力除く）

(※2)：時間帯別及び深夜電力

⑨高齢者と住まい

高齢者世帯は全体の42%を、高齢者同居世帯は27%を占めており、69%の世帯が高齢者のいる世帯である。

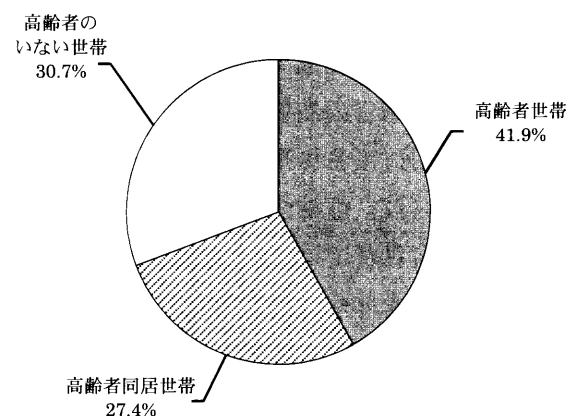


図 1.19 高齢者世帯構成比

(注) 図 1.16 および図 1.18 の北海道平均は、本調査の戸建と集合一世帯当たりのエネルギー消費量を総務省「平成25年住宅・土地統計調査」の北海道の戸建と集合戸数を用いて加重平均した値である。